

授業科目 検査測定評価学 II

【担当教員名】 古西 勇	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎
【概要・一般目標：G10】 理学療法の臨床において、検査測定評価の「思考」や「技術」は、対象者に実施する個別の治療の方針や枠組みを決定するために用いられる。この授業科目では、各種検査測定法の手順を修得し、評価全体の流れを修得する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 評価全体の流れについて述べる。 2. 徒手筋力検査法の手順に慣れる。 3. 医療記録を模倣する。 4. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。 5. 疾患別の評価への応用を模倣する。				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	徒手筋力検査法 総論、握力測定、参考文献の書き方	2, 4	講義・演習（握力測定）、演習レポート提出	
2	理学療法評価 総論、情報収集・医療面接	1, 2	小テスト（徒手筋力検査法 総論）、講義	
3	整形外科疾患、評価項目の選択	1, 4, 5	講義・演習（具体的な評価項目）、課題レポート提出	
4	臨床（実習）における記録、SOAP、ICF	1, 3, 5	講義・演習（記録、SOAP）、課題レポート提出（ICF）	
5	統合と解釈、問題点の抽出、トランスファー（移乗）	1, 3, 4, 5	講義・演習、課題レポート提出（トランスファー）	
6	障害のとらえ方と PT 評価過程、歩行分析、トップダウンモデルでの評価	1, 3, 4, 5	講義・演習（歩行分析）、課題（用紙は持ち帰り、第8回で参照可）	
7	動作分析、診療記録（カルテ）と症例報告の書き方、評価の手順、障害と活動の測定・評価	1, 3, 4, 5	講義・演習（動作分析）、課題（前回の用紙裏側に記入し、第8回で参照可）	
8	まとめ	1, 3, 4, 5	習得度の確認（文章記述式テスト）	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新・徒手筋力検査法 第8版	Hislop HJ 他	協同医書出版社	2008・7,875 円
	シンプル理学療法学シリーズ 理学療法評価学テキスト	細田多穂(監修)、星文彦(編集)、伊藤俊一(編集) 他	南江堂	2010・5,700 円＋税
参考書	診察と手技がみえる vol.1 第2版	編集 古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300 円
	理学療法評価学 改訂第4版	松澤正 他	金原出版	2012・6,200 円＋税
	ベッドサイド神経の診かた第17版	田崎義昭	南山堂	2010・7,560 円
その他の資料				
【評価方法】 各回の出席や授業態度を評価する（2回以上の欠席で、第8回 の文章記述式テストを受けられない場合あり）。小テストとレ ポートを評価し、文章記述式テストと合わせて成績評価とする。		【履修上の留意点】		